

# たいにい・ぼっくすつうしん

Vol.96

令和5年  
3月15日

## 支援級在籍に画一的な通知は如何に

桜の芽がいまにも開きそうな陽気が続いています。年度の切り替えを前に、「先輩になるんだ!」「(卒業しても)遊びに来るね」など、それぞれ、進級・進学・社会人生活に心を躍らせています。

およそ1年前、2022年4月27日に、「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」が文部科学省初等中等教育局長名で出されました。一部の特別支援学級に在籍する児童が大半の時間を通常の学級で過ごして、障がいの特性および心身の発達段階等に応じた指導を受けられていない事例があることから、原則として週の授業時数の半分以上を目安として特別支援学級で発達段階等に応じた授業を行うことなどを求めている内容となっています。

この通知を受けて、大きく反応したのは大阪のほとんどの自治体です。インターネットで検索すると、市の教育委員会からの通知文章や市議のコメントがでてきます。大阪は独自のインクルーシブ教育の形態があり、大半の授業時間を通常の学級で過ごす取り組みをしています。障がいのある子も、ない子も、可能な限り同じ場所で同じ時間を共有し学ぶことを最大の目標に、個々の障がいの特性に必要な配慮や指導を行いながら取り組んできたものが、この通知によって、教員の配置に制限が掛かるなど、ままならないものとなると混乱をきたしています。

文部科学大臣は、むしろインクルーシブ教育を促進させる内容になっていると説明していますが、給食の時間の過ごし方、マスク着用の要不要、支援級1年生は交流級を設定しないとしている学校など、それぞれの判断に任せられる現場に課題があります。「選ばされている状態」「選ばざるを得ない状態」の支援学級では、支援を必要とする児童のインクルーシブを追求した環境に結びつくものとは考えられません。体制の見直し時期である年度の切り替わりに、地域の学校はこの通知をどのように受け取ったのか注視する必要があります。

たいにい  
のようす

写真掲載欄のため内容を削除させていただいております。

代表的な用語	意味
バリアフリー	社会生活を送るうえで障害となるものを取り除くこと
ユニバーサルデザイン	だれもが利用しやすい製品や環境であるための設計(デザイン)
ダイバーシティ	人種や国籍、宗教、性別、年齢などを問わない「多様性」
ノーマライゼーション	標準化、常態化。「特異な状態が当たり前の状態になること」といった意味
インクルーシブ	包括的。インクルージョン(包括、抱合)が名詞でインクルーシブは形容詞

### 第3回

#### たいにい・ぼっくす茶話会

日時:3月26日(日曜日) 10:30~  
資料:ライフスキルについて  
場所:たいにい・ぼっくす あさひ  
参加者:法人事業所を利用中  
または利用していた保護者  
※過去の資料が欲しい方はさしあげますのでお声かけ下さい。

### 4月の予定

春季長期休暇計画参照

#### 4月 休業日

1日2日  
8日9日  
15日16日  
22日23日  
29日30日

